



尼崎訪問看護ステーション

尼崎訪問看護ステーションは、阪急神戸線塚口駅から南に約 700 メートルの所に位置しています。ステーションから徒歩 5 分の場所にあるスーパーマーケットの一角を借りて、「まちの保健室」を年 3 回程度開催しています。事前に店内 4 か所にポスターで告知し、当日買い物に来られた方を対象に声をかけて実施しています。血圧測定・骨密度測定・血管年齢測定その他、ひょうご健康増進プログラムを活用しながら健康相談を行っています。開催時期に合わせて熱中症予防や感染予防などのパンフレットも使用しています。

当ステーションは平成 29 年度に尼崎市から認知症初期集中支援事業を受託しました。ステーションの看護師、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員らによる支援チーム「オレンジールあまがさき」の活動を開始し今年度は尼崎市が作成した「認知症あんしんガイド」を活用しました。「まちの保健室」でも、地域の方々に認知症について知ってもらう目的で介護相談や健康相談を開催しました。その結果 15 名の参加がありましたが「まだ認知症にはなりたくないから」「認知症については結構です」と通りすぎる方もあり、認知症の理解は不十分であることを実感しました。今後の「まちの保健室」では、一般の方への認知症の理解を深められるようステーションのキャラバンメイト 3 名による認知症サポーター養成講座を開催する予定です。

訪問看護ステーションが「まちの保健室」活動を継続していくには、訪問業務の日程調整が大変ですが、協賛ボランティアとして事業所内の多職種に協力を得られており、今後もステーション所在地の地域づくりの推進に寄与していきたいと思えます。



買い物カートのまま
立ち寄れます



協和マリナホスピタル

拠点では、昨年度からコープ西宮浜店の集会所をお借りして、なかなか病院へ足を運べない方が、買い物のついでに立ち寄られたり、「まちの保健室」を知らずに来られた方の参加もあります。活動内容は、骨密度測定・血管年齢測定・健康相談を行い、30 名前後の参加があります。11 月には、西宮市薬剤師会理事の入江俊彦氏を迎え、「サルコペニア」についての講義を行っていただきました。講義後もたくさんの方が質問や相談をされてとても盛況でした。

今後は、コープの集会所で定期的に行われる「ハーバーカフェ」とのコラボレーションでの開催も企

画しています。地域包括ケアシステムの一環としての役割を担い、住民のニーズに応え、気軽に参加することができる「まちの保健室」を目指します。

協和マリナホスピタルでは拠点活動のほか、西宮浜で開催される「西宮浜さくらまつり」に平成 29 年度から出前隊として活動をしています。どの活動も、西宮浜の住民を中心に利用していただいています。

内容は骨密度測定・血管年齢測定・健康相談・介護相談です。年齢を問わず 150 名以上の方が参加されています。残念ながら桜が散った後の開催となりましたが、測定は長蛇の列ができるほどの盛況ぶりでした。皆さんの健康意識の高さを実感しています。

測定後は健康相談も行っています



西宮市立中央病院

西宮市立中央病院では、年間 6 回の市民講座に合わせて「まちの保健室」を開催し、健康相談を行っています。参加者はどなたも健康意識が高く、血管年齢測定や体組成測定など積極的に参加されています。健康相談を通して地域の方々との交流が深められるこの「まちの保健室」の活動は、健康寿命を延ばす役割の一部を担っていると思います。

また、年に一度病院フェアを開催しており、平成 30 年で 9 回目を迎えました。早朝より参加者の行列ができ、同時開催の「まちの保健室」も来場者 299 名と多くの来場者となりました。体組成・血管年齢・骨密度測定コーナーと健康相談・子育て相談を行い、時間終了間際まで利用者が絶えず、地域の方々の関心の高さが伺えました。病院体験ツアーも毎年人気で、手術支援ロボット「ダヴィンチ」の操作体験や内視鏡操作体験は定員以上の参加がありました。その他、救急車試乗体験やクイズコーナーなども設けており、老若男女問わず参加いただけ市民の健康づくりに役立つ病院フェアを継続的に行えることを嬉しく思っています。



病院フェアは多くの参加者でにぎわいます。

